

明治安田生命 夏に関するアンケート調査を実施！

長引く経済不況が夏休みのプランを直撃！
「影響した」が約5割も！帰省にかかる費用も大幅減少！
ETCによる割引の影響か？「自宅でゆっくり」が減少し、「帰省」は大幅増加！

明治安田生命保険相互会社（執行役社長 松尾 憲治）は、お盆の帰省シーズンを前に、夏に関するアンケート調査を実施しましたので、ご報告します。

○夏休みの理想と現実（詳細は4～8ページ参照）

- 夏休みの過ごし方 ETCによる割引が影響か？『自宅でゆっくり』（66.2%）が減少し、『帰省』（39.8%）が大幅に増加！
- 経済不況が夏休みの過ごし方に「影響した」が約5割も！その影響内容は『食事代などを節約した』（34.5%）、『予定をとりやめた』（28.9%）
 - ・ 夏休みの過ごし方、1位は『自宅でゆっくり』で66.2%。ETCによる割引の影響か、『帰省』が12.7ポイントも増加し39.8%で2位に浮上。
 - ・ 夏休みの過ごし方、理想の1位は『国内旅行』（57.7%）、2位は『海外旅行』（51.8%）と旅行が上位を独占。
 - ・ 経済不況が夏休みのプランに影響した人は46.8%と約5割も！そのうち、『食事代などを節約した』が34.5%、『予定をとりやめた』は28.9%も！
 - ・ 一方、新型インフルエンザが夏休みのプランに影響した人は、わずか1割未満！

○帰省の交通手段と費用（詳細は9～10ページ参照）

- 気になる帰省費用は節約傾向！平均交通費は約4千円も減少し、3万円を割る
- 帰省手段として大人気 高速道路利用者が5割を突破！そのうち、3割以上の人がETCによる割引により高速道路を選択
 - ・ 経済不況の影響？帰省にかかる平均交通費は、29,286円と昨年より3,711円減少し、節約傾向に。
 - ・ 交通費が減少した分、おみやげ代に。おみやげ代は昨年より増加し、10,211円。
 - ・ 平均おみやげ代で一番高い地域は、東海で14,469円。一番安い地域は、近畿で7,934円。
 - ・ 帰省に際し、高速道路を使用する人は52.1%と昨年より、3.9ポイント増加。そのうち、31.7%の人がETCによる割引により高速道路を選択！

○環境問題について（詳細は11～12ページ参照）

- 環境問題に「関心がある」人は、95.0%とほとんどの人が興味を持っている
- しかし、関心があるものの、何もしていない人がいまだ半数以上！
 - ・ 環境問題を意識した行動は、『ゴミの分別を心がける』が最も多く89.4%、続いて『人のいない部屋はこまめに消灯する』（82.3%）、『レジ袋や過剰包装を断る（エコバッグを使用する）』（81.5%）。

○【番外編】夏といえばこの人！夏をイメージする有名人（詳細は13～14ページ参照）

- 男性が選んだ女性有名人のトップ『ベッキー』さん！
- 女性が選んだ男性有名人のトップ『前田亘輝（TUBE）』さん！

対象者の属性

1. 調査対象

20～59歳の男性・女性

2. 調査エリア

全国

3. 調査期間

2009年7月10日(金)～7月13日(月)

4. 調査方法

インターネット調査

5. 有効回答者数

1,250人

6. 回答者の内訳

(単位:人)

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	計
男性	154	171	138	162	625
女性	130	163	165	167	625
計	284	334	303	329	1,250

【目次】

- 1. 夏休みの理想と現実** (4 ページ)
- (1) 夏休みの過ごし方** (4 ページ)
夏休みの過ごし方 ETCによる割引の影響か？
「自宅でゆっくり」が減少し、「帰省」が約4割と大幅に増加！
- (2) 長引く経済不況の影響について** (5 ページ)
長引く経済不況が夏休みのプランを直撃！「影響した」との回答が約5割も！
影響内容は「食事代などを節約した」が34.5%、
「予定をとりやめた」が28.9%も！
- (3) 新型インフルエンザの影響について** (6 ページ)
「新型インフルエンザ」は気にしない？！
夏休みのプランに影響した人はわずか1割未満
- (4) 夏休みの日数** (7・8 ページ)
雇用調整の影響か？ 夏休みが長期化
今年の夏休みは「7.7日」と昨年から「1.2日」増加
- 2. 帰省の交通手段と費用** (9 ページ)
- (1) 帰省の交通手段** (9 ページ)
帰省手段として大人気 高速道路利用者が5割を突破！
そのうち、3割以上の人 ETCによる割引により高速道路を選択
- (2) 交通費とおみやげ代** (10 ページ)
気になる帰省費用は節約傾向
「平均交通費」は約4千円減少し、3万円を割る！
節約したお金の一部が「おみやげ代」へ
- 3. 環境問題について** (11 ページ)
- (1) 関心と取組み** (11 ページ)
環境問題に「関心がある」人は95.0%！
しかし、関心があるものの、何もしていない人がいまだ半数以上
- (2) 「エコカー減税」と「エコポイント制度」** (12 ページ)
「エコカー減税」「エコポイント制度」
回答者の約98%が「聞いたことがある」と回答
内容まで知っているのは、半数以上
- 4. 【番外編】夏といえば、この人！夏をイメージする有名人**
- (1) 男性が選んだ「夏をイメージする女性有名人」** (13 ページ)
「夏をイメージする女性有名人」
1位に「ベッキー」さん、2位に「上戸彩」さん！
- (2) 女性が選んだ「夏をイメージする男性有名人」** (14 ページ)
「夏をイメージする男性有名人」
1位に「前田亘輝 (TUBE)」さん、2位に「所ジョージ」さん！

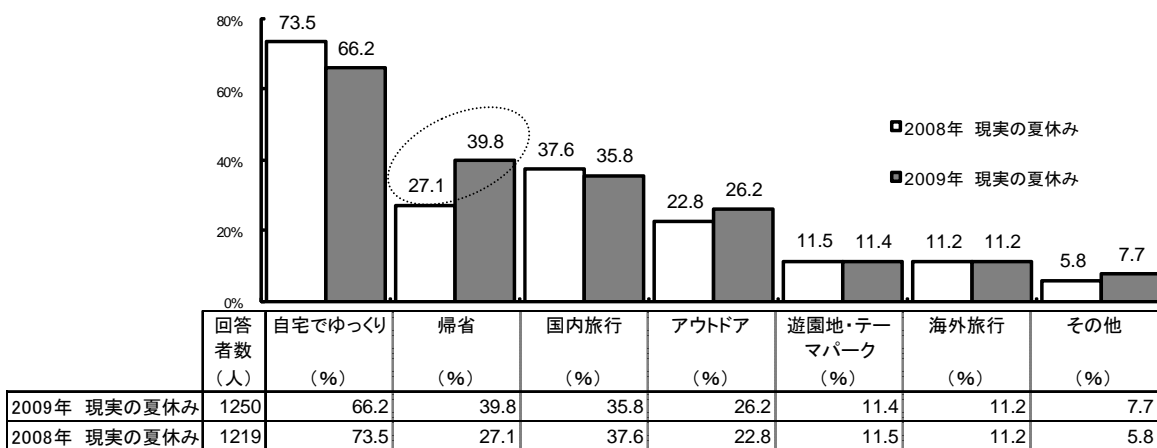
1. 夏休みの理想と現実

(1) 夏休みの過ごし方

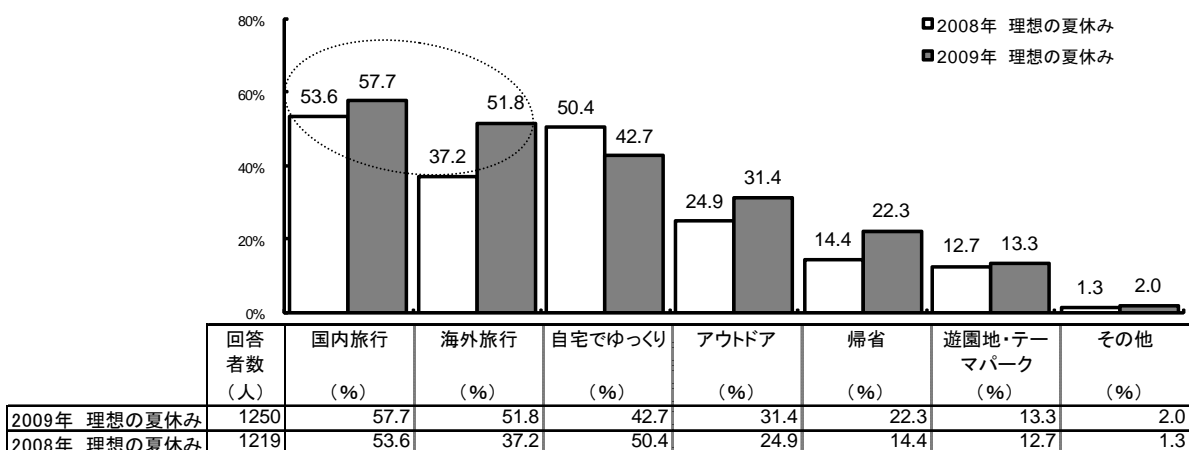
夏休みの過ごし方 ETCによる割引の影響か？
「自宅でゆっくり」が減少し、「帰省」が約4割と大幅に増加！

- 夏休みの過ごし方の現実と理想について聞いてみました。
- 現実の過ごし方1位は、昨年に引き続き『自宅でゆっくり』（66.2%）ですが、昨年と比べ7.3ポイントも減少しています。
- また、『帰省』（39.8%）は、昨年から12.7ポイントと大幅に増加し、2位に浮上しています。これはETCによる割引を利用し、高速道路を使用して帰省する人が増えたからではないでしょうか。
- 一方、今年の理想の過ごし方1位は『国内旅行』（57.7%）、2位は『海外旅行』（51.8%）となりました。経済不況の反動からか、豪華に旅行に行きたいという気持ちが強くなるのでしょうか。

Q. 今年の夏休みの過ごし方を教えてください。（複数回答）



Q. 今年の夏休みの“理想”の過ごし方を教えてください。（複数回答）



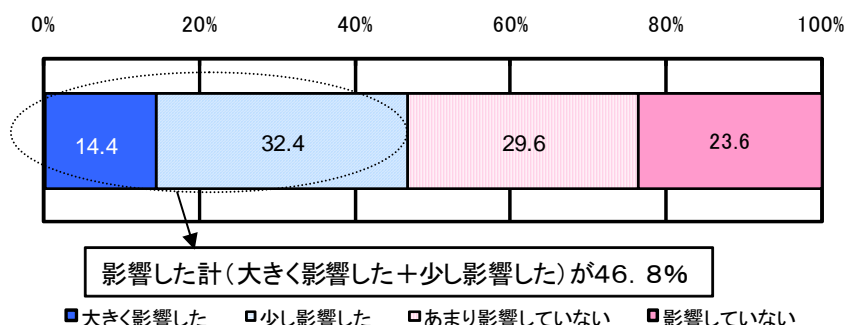
1. 夏休みの理想と現実

(2) 長引く経済不況の影響について

**長引く経済不況が夏休みのプランを直撃！「影響した」との回答が約5割も！
 影響内容は「食事代などを節約した」が34.5%、
 「予定をとりやめた」が28.9%も！**

- ・ここで、経済不況が夏休みのプランに具体的にどう影響しているか聞いてみました。
- ・夏休みのプランに「影響した」（『大きく影響した』『少し影響した』の合計）が全体で46.8%となりました。
- ・「影響した」と回答した人に、具体的影響内容について聞いてみると、『食事代などを節約した』（34.5%）に次いで『予定をとりやめた』が28.9%となりました。長引く経済不況が夏休みのプランに大きく影響していることがわかります。

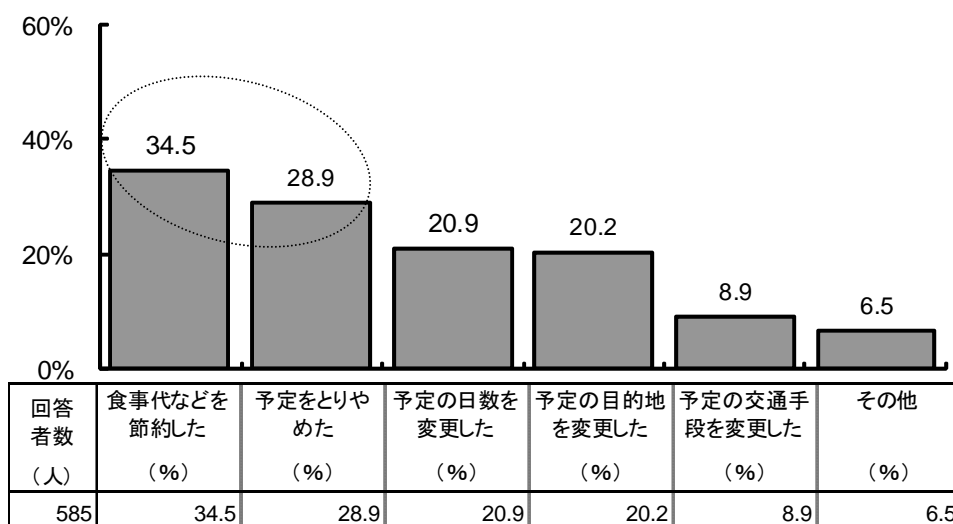
Q. 長引く経済不況が夏休みのプランに影響しましたか。



■大に大きく影響した □少し影響した □あまり影響していない □影響していない

*回答者数1250人

Q. 「影響した」人は、具体的に夏休みのプランにどのように影響しましたか。(複数回答)



*長引く経済不況が夏休みのプランに影響した（大に大きく影響した+少し影響した）人ベース

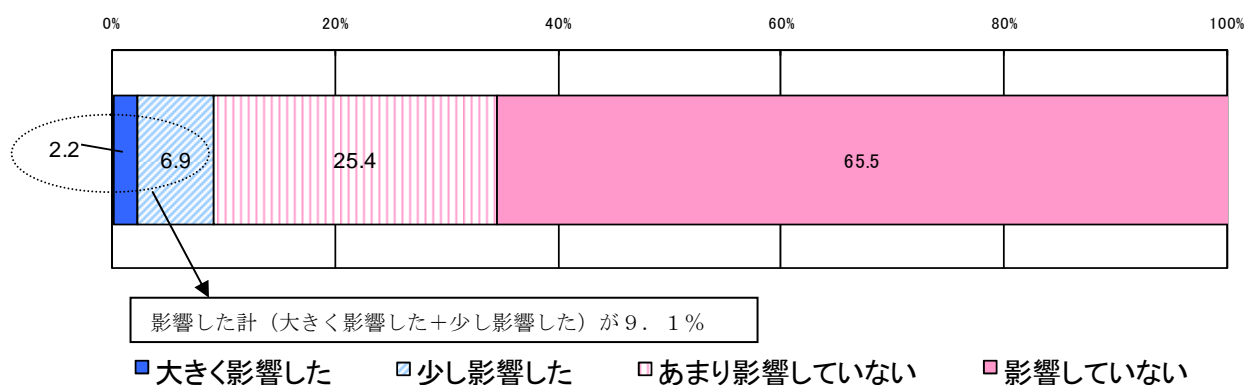
1. 夏休みの理想と現実

(3) 新型インフルエンザの影響について

「新型インフルエンザ」は気にしない？！ 夏休みのプランに影響した人はわずか1割未満

- ・ 今年新型インフルエンザが世界的に流行していますが、夏休みの過ごし方に影響したか聞いてみました。
- ・ 夏休みのプランに「影響した」(『大きく影響した』『少し影響した』の合計)が全体で9.1%とわずか1割未満でした。
- ・ 新型インフルエンザは世界的に流行していますが、現時点では弱毒性であるためなのか、あまり夏休みのプランに影響を与えていないようです。

Q. 新型インフルエンザが夏休みのプランに影響しましたか。



*回答者数1250人

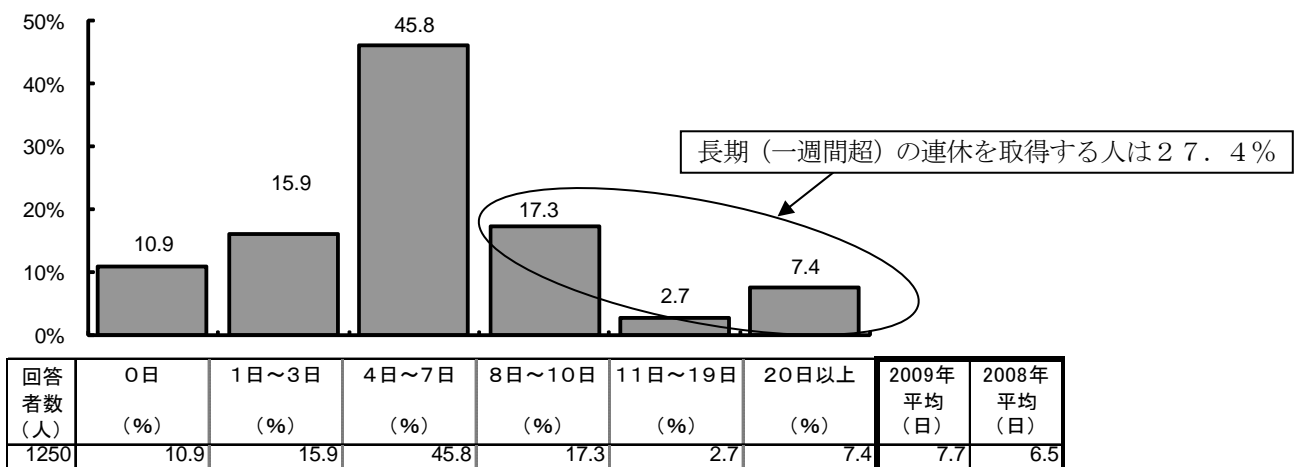
1. 夏休みの理想と現実

(4) 夏休みの日数

雇用調整の影響か？ 夏休みが長期化
今年の夏休みは「7.7日」と昨年から「1.2日」増加

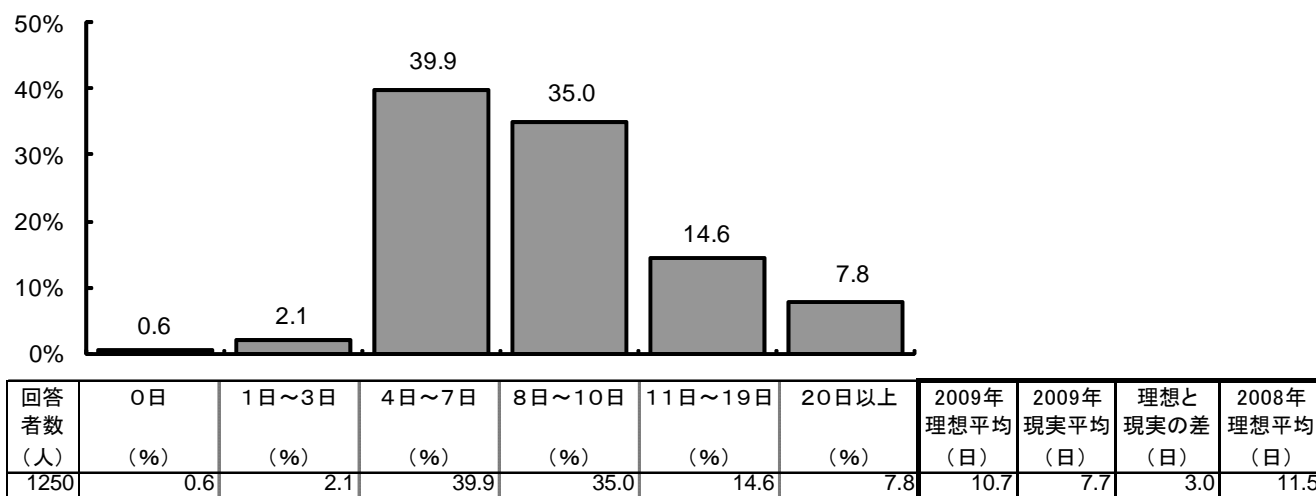
- ・ お盆の帰省シーズンを前に、今年も夏休みの日数の現実と理想について聞きました。
- ・ 今年の夏休みの平均日数は土日を含め「7.7日」。昨年より「1.2日」長くなっています。今年は長期（一週間超）の連休を取得する人が昨年（23.2%）より、4.2ポイント多く27.4%となっています。昨年から続く経済不況による雇用調整やワークシェアリング等が要因となっているのかもしれませんが。
- ・ 一方、理想の夏休みの平均日数は「10.7日」と昨年より「0.8日」短くなっており、現実の夏休みとの差は、わずか「3日」。理想と現実との差は小さくなっています。

Q. あなたの夏休みの日数は何日ですか？（土日も含め連続しての日数）



* 内訳の詳細は次ページ

Q. あなたの理想とする夏休みの日数は何日ですか？（土日も含め連続しての日数）



* 内訳の詳細は次ページ

Q. あなたの夏休みの日数は何日ですか。(土日も含め連続しての日数) <詳細>

		回答者数 (人)	0日 (%)	1日～3日 (%)	4日～7日 (%)	8日～10日 (%)	11日～19日 (%)	20日以上 (%)	2009年 平均 (日)	2008年 平均 (日)	
【職業別】		全体	1250	10.9	15.9	45.8	17.3	2.7	7.4	6.5	
	会社員	573	4.4	16.1	51.7	24.1	3.0	0.9	5.8	5.3	
	会社役員／経営者	23	8.7	4.3	65.2	21.7	-	-	5.4	4.3	
	公務員	70	1.4	15.7	58.6	17.1	5.7	1.4	6.4	5.4	
	自営業、自由業	77	9.1	28.6	46.8	13.0	2.6	-	4.6	4.3	
	パート、アルバイト	195	11.3	23.1	48.2	8.7	2.1	6.7	6.3	5.9	
	学生	52	-	3.8	5.8	7.7	1.9	80.8	37.8	36.3	
	専業主婦	224	33.9	9.4	31.7	9.4	2.2	13.4	8.5	5.8	
	その他	36	8.3	13.9	44.4	25.0	2.8	5.6	7.1	3.7	
【役職別】		勤め人計	666	4.2	15.6	52.9	23.3	3.2	0.9	5.9	5.3
	会社役員／経営者	23	8.7	4.3	65.2	21.7	-	-	5.4	4.3	
	会社員・公務員計	643	4.0	16.0	52.4	23.3	3.3	0.9	5.9	5.3	
	一般社員	369	4.3	18.7	49.9	22.8	3.0	1.4	5.9	5.1	
	役職者(管理職)	274	3.6	12.4	55.8	24.1	3.6	0.4	5.9	5.6	
【居住地域別】		北海道	60	11.7	20.0	48.3	15.0	1.7	3.3	6.0	6.5
	東北	67	9.0	11.9	55.2	16.4	1.5	6.0	7.0	6.6	
	関東	561	10.3	15.7	45.1	18.4	3.2	7.3	8.1	6.6	
	甲信越・北陸	48	8.3	27.1	45.8	10.4	4.2	4.2	5.8	5.5	
	東海	118	11.0	15.3	36.4	27.1	2.5	7.6	8.1	6.3	
	近畿	234	12.0	13.7	49.1	14.5	1.7	9.0	7.6	6.9	
	中国	54	9.3	24.1	37.0	16.7	5.6	7.4	7.7	5.2	
	四国	24	8.3	12.5	54.2	12.5	-	12.5	7.9	7.6	
	九州・沖縄	84	15.5	14.3	47.6	11.9	2.4	8.3	7.6	6.5	

Q. あなたの理想とする夏休みの日数は何日ですか。(土日も含め連続しての日数) <詳細>

		回答者数 (人)	0日 (%)	1日～3日 (%)	4日～7日 (%)	8日～10日 (%)	11日～19日 (%)	20日以上 (%)	2009年 理想平均 (日)	2009年 現実平均 (日)	理想と 現実の差 (日)	
【職業別】		全体	1250	0.6	2.1	39.9	35.0	14.6	7.8	10.7	7.7	3.0
	会社員	573	-	1.6	41.4	38.9	15.0	3.1	9.3	5.8	3.5	
	会社役員／経営者	23	-	-	30.4	56.5	13.0	-	9.4	5.4	4.0	
	公務員	70	-	-	38.6	32.9	21.4	7.1	10.5	6.4	4.1	
	自営業、自由業	77	1.3	5.2	40.3	31.2	16.9	5.2	9.4	4.6	4.8	
	パート、アルバイト	195	1.5	2.6	49.2	32.8	10.3	3.6	8.8	6.3	2.5	
	学生	52	-	-	7.7	5.8	7.7	78.8	35.3	37.8	-2.5	
	専業主婦	224	1.8	3.6	37.9	32.6	15.2	8.9	10.9	8.5	2.5	
	その他	36	-	-	33.3	38.9	22.2	5.6	10.2	7.1	3.1	
【役職別】		勤め人計	666	-	1.4	40.7	38.9	15.6	3.5	9.5	5.9	3.6
	会社役員／経営者	23	-	-	30.4	56.5	13.0	-	9.4	5.4	4.0	
	会社員・公務員計	643	-	1.4	41.1	38.3	15.7	3.6	9.5	5.9	3.6	
	一般社員	369	-	2.2	42.8	36.9	14.4	3.8	9.4	5.9	3.5	
	役職者(管理職)	274	-	0.4	38.7	40.1	17.5	3.3	9.5	5.9	3.6	
【居住地域別】		北海道	60	-	1.7	51.7	28.3	13.3	5.0	10.2	6.0	4.1
	東北	67	-	-	44.8	38.8	13.4	3.0	9.4	7.0	2.4	
	関東	561	0.5	1.4	33.0	37.1	18.7	9.3	11.5	8.1	3.4	
	甲信越・北陸	48	-	-	50.0	37.5	4.2	8.3	9.7	5.8	3.9	
	東海	118	0.8	1.7	36.4	39.0	16.9	5.1	10.4	8.1	2.3	
	近畿	234	0.4	2.1	48.7	32.1	9.0	7.7	10.5	7.6	2.9	
	中国	54	1.9	5.6	48.1	27.8	11.1	5.6	9.1	7.7	1.4	
	四国	24	-	8.3	33.3	37.5	12.5	8.3	9.9	7.9	2.0	
	九州・沖縄	84	2.4	6.0	45.2	27.4	10.7	8.3	9.7	7.6	2.1	

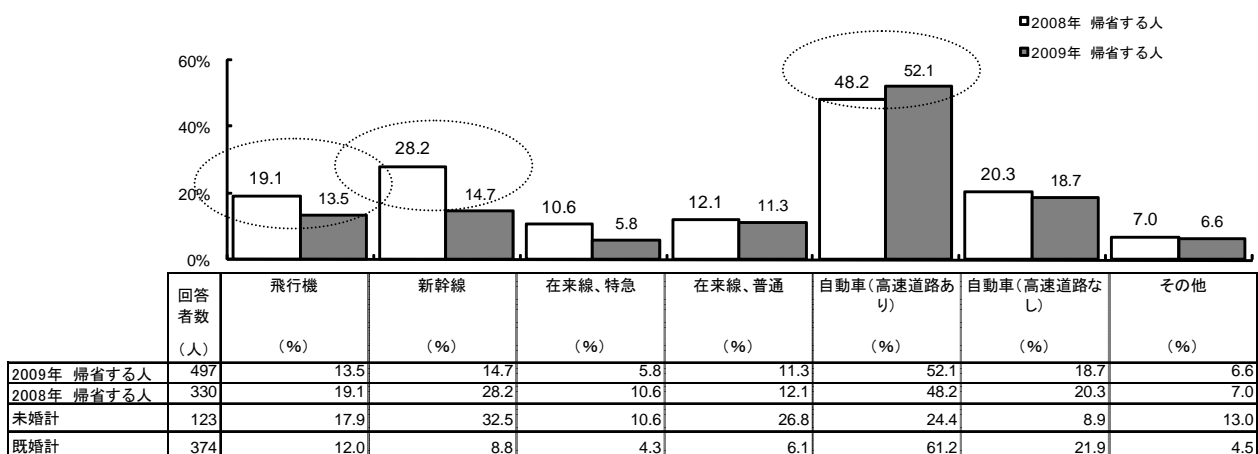
2. 帰省の交通手段と費用

(1) 帰省の交通手段

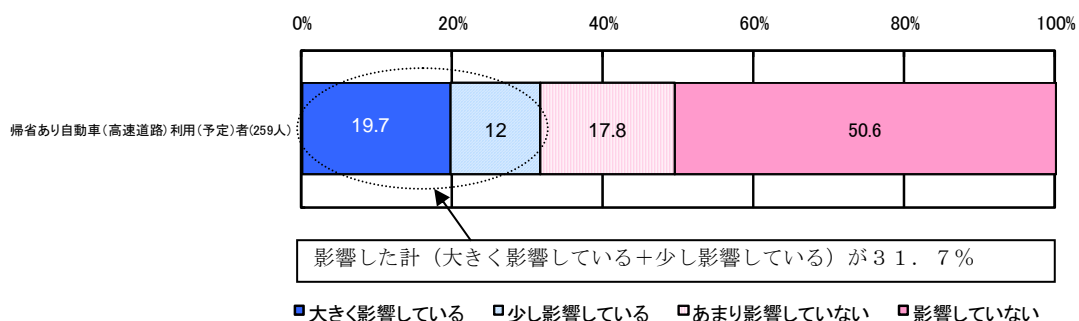
**帰省手段として大人気 高速道路利用者が5割を突破！
そのうち、3割以上の人E T Cによる割引により高速道路を選択**

- ・ 帰省シーズンのこの時期、帰省の交通手段について聞いてみました。
- ・ 昨年と比較すると、『自動車（高速道路あり）』（52.1%）のみが増加しています。
- ・ 一方、『新幹線』（14.7%）や『飛行機』（13.5%）利用の減少が目立ちます。
- ・ また、今年高速道路を使って帰省する人に、E T Cによる割引の影響度について聞いてみました。
- ・ 帰省の手段で高速道路を使用すると決めた人のうち、「3人に1人」（31.7%）は、E T Cによる割引が「影響した」（『大きく影響している』『少し影響している』の合計）と回答しています。

Q. 帰省手段として、何を使いますか。（複数回答）



Q. 帰省手段として高速道路を使うことはE T C割引が影響していますか？



* 自動車（高速道路）利用で帰省する人ベース

2. 帰省の交通手段と費用

(2) 交通費とおみやげ代

気になる帰省費用は節約傾向
「平均交通費」は約4千円減少し、3万円を割る！
節約したお金の一部が「おみやげ代」へ

- ・ 次に、帰省の費用について聞いてみました。
- ・ 平均交通費を昨年と比較すると、3,711円も減少し、29,286円となっています。とくに既婚者では、6,551円と大幅に減少し、31,404円となっています。これは、新幹線と在来線による帰省が多い未婚者と異なり、自動車（高速道路利用）による帰省が圧倒的に多いため、節約効果が大いのではないのでしょうか。
- ・ 9ページに記載のとおり、経済不況の影響から、少しでも節約しようと、ETCによる割引を利用した人が多かったのかもしれないね。
- ・ 一方、平均おみやげ代は、昨年と比較すると992円増加し、10,211円となっています。交通費を節約した分、少しでも喜ばれるおみやげを家族や知人に渡そうというやさしい気持ちもうかがえますね。
- ・ ちなみに、平均おみやげ代を居住地域別で比較すると、最も高いのは東海の14,469円、最も安いのは近畿の7,934円となっており、地域により約2倍の差があります。

Q. 帰省費用はいくらですか。(交通費とおみやげ代)

平均帰省費用とその内訳 (単位:円)

	平均交通費		平均おみやげ代		平均帰省費用	
		昨年		昨年		昨年
全体	29,286	32,997	10,211	9,219	39,497	42,216
未婚	22,846	21,079	6,447	6,123	29,293	27,202
既婚	31,404	37,955	11,449	10,506	42,853	48,461

* 帰省する回答者ベース

<居住地域別おみやげ代>

(単位:人)

居住地域	平均おみやげ代
北海道	9,708
東北	12,360
関東	9,972
甲信越・北陸	10,474
東海	14,469
近畿	7,934
中国	8,061
四国	10,667
九州・沖縄	12,567

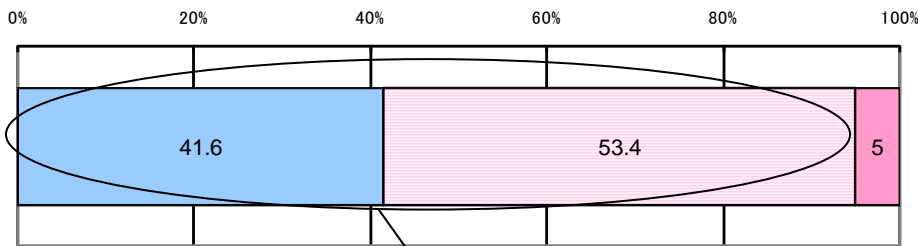
3. 環境問題について

(1) 関心と取組み

環境問題に「関心がある」人は95.0%!
しかし、関心があるものの、何もしていない人がいまだ半数以上

- 夏には、冷房等をはじめ、電力をたくさん使用するため、環境問題がよくとりあげられます。そこで、環境問題に関心があるか聞いてみました。
- 環境問題に「関心がある」人（『関心があり、環境問題に取り組んでいる』『関心はあるが、何もしていない』）は95.0%と、ほとんどの人は環境問題に関心があることがわかります。
- しかしながら、環境問題に『関心はあるが、何もしていない』は53.4%と、いまだ半数以上の人は何も行動を起こしていないという結果になっています。
- 環境問題についてなんらかの取組みをしていると回答した人に、地球温暖化対策のために心がけていることを聞いてみました。
- 1位は『ゴミの分別を心がける』（89.4%）が最も多く、2位『人のいない部屋はこまめに消灯する』（82.3%）、3位『レジ袋や過剰包装を断る（エコバッグを使用する）』（81.5%）と続いています。

Q. 環境問題に関心がありますか。

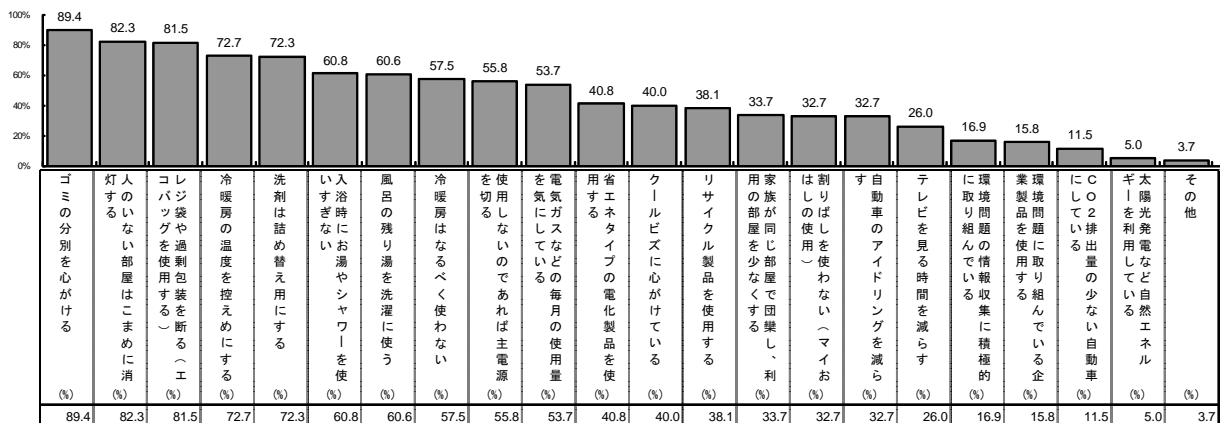


関心がある計(関心があり、環境問題に取り組んでいる+関心はあるが、何もしていない)が95.0%

関心があり、環境問題に取り組んでいる
 関心はあるが、何もしていない
 関心がない

*回答者数1250人

Q. 地球温暖化対策のために心がけていることは何ですか。



*環境問題に関心があり、環境問題に取り組んでいる人ベース

3. 環境問題について

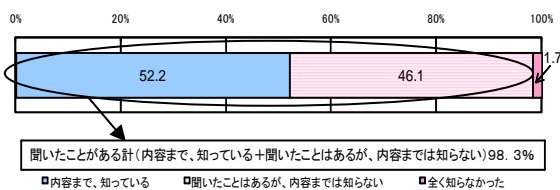
(2) 「エコカー減税」と「エコポイント制度」

「エコカー減税」「エコポイント制度」
約98%の回答者が「聞いたことがある」と回答
内容まで知っているのは、半数以上

- ・今年度からスタートした「エコカー減税」について聞いてみました。
- ・エコカー減税については、回答者の98.3%が「聞いたことがある」と回答しています。また、内容まで知っているのは、全体の半数以上となっています。
- ・エコカー減税対象の車を『購入した・購入を予定』の人は『内容まで知っている』と回答した人の10.7%でした。
- ・また、今年度からスタートした「エコポイント制度」について聞いてみました。
- ・エコポイント制度については、回答者の98.5%が、「聞いたことがある」と回答。『内容まで知っている』のは、全体の半数以上となっています。
- ・エコポイント制度対象の家電製品を『購入した・購入を予定』の人は、『内容まで知っている』と回答した人の23.2%でした。

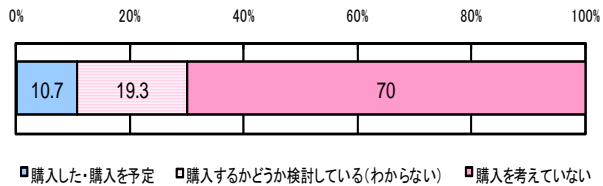
<エコカー減税について>

Q. エコカー減税について知っていますか。



*回答者数1250人

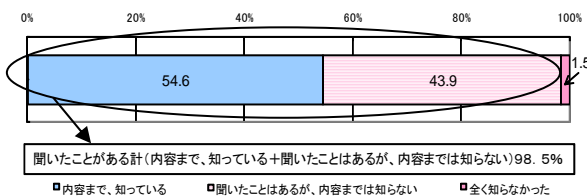
Q. エコカー減税対象車を購入しますか。



*エコカー減税について知っている
と回答した人ベース

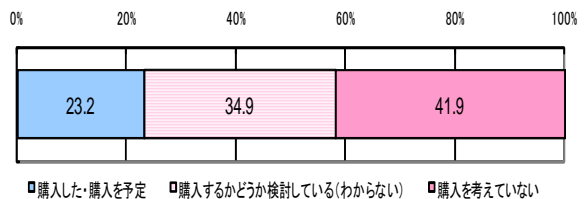
<エコポイント制度について>

Q. エコポイント制度について知っていますか。



*回答者数1250人

Q. エコポイント制度対象の家電製品を購入しますか。



*エコポイント制度について知っている
と回答した人ベース

4. 【番外編】夏といえば、この人！夏をイメージする有名人

(1) 男性が選んだ「夏をイメージする女性有名人」

「夏をイメージする女性有名人」
1位に「ベッキー」さん、2位に「上戸彩」さん！

- ・ 最後に、夏をイメージする有名人を聞いてみました。
- ・ 男性が選んだ女性有名人ですが、『ベッキー』さんが2位以下を大きく引き離し1位となりました。
- ・ 2位は『上戸彩』さん、3位は『ほしのあき』さんとなっています。
- ・ テレビや雑誌などで、露出の機会が多いことも影響しているようですが「元気」「明るい」「海が似合う」といったイメージが夏を連想させるようです。

Q. 男性が選んだ夏をイメージする女性有名人は。

(敬称略)

順位	有名人	回答者数
1位	ベッキー	110人
2位	上戸彩	61人
3位	ほしのあき	55人
4位	新垣結衣	43人
5位	長澤まさみ	39人
6位	綾瀬はるか	30人
	蛸原友里	30人
8位	相武紗季	27人
9位	仲間由紀恵	21人
10位	小泉今日子	15人

*全回答者は625人

<参考>男性が選ぶ女性有名人トップ3 選んだ理由

(敬称略)

ベッキー	活発で活動的なイメージで、夏が似合いそうだから
	夏の太陽のようにまぶしくて明るいイメージだから
	元気に太陽の下を走ってそうだから
上戸彩	アクティブなイメージが夏を連想させるから
	涼しげな顔が、夏の海に合いそうだから
	明るく元気なイメージが夏に合っているから
ほしのあき	水着と浜辺が似合いそうだから
	夏の海が似合うから
	明るいところが夏に合っているから

4. 【番外編】夏といえば、この人！夏をイメージする有名人

(2) 女性が選んだ「夏をイメージする男性有名人」

「夏をイメージする男性有名人」
1位に「前田亘輝 (TUBE)」さん、2位に「所ジョージ」さん！

- ・ 女性が選んだ夏をイメージする男性有名人では、『前田亘輝 (TUBE)』さんがダントツの1位でした。幅広い年代の人が「夏をイメージする男性有名人」としてあげたことが特徴です。
- ・ 2位は『所ジョージ』さんで、よくアロハシャツを着ている姿から夏をイメージする人が多いようです。
- ・ 3位は高校野球などのイメージで『上地雄輔』さん、サーフィンなどのイメージで『木村拓哉』さんとなっています。

Q. 女性が選んだ夏をイメージする男性有名人は。

(敬称略)

順位	有名人	回答者数
1位	前田亘輝(TUBE)	292人
2位	所ジョージ	42人
3位	上地雄輔	23人
	木村拓哉	23人
5位	石川遼	22人
6位	妻夫木聡	21人
7位	市原隼人	20人
8位	山口智充	18人
9位	佐藤隆太	17人
10位	瑛太	14人

*全回答者は625人

<参考>女性が選ぶ男性有名人トップ3 選んだ理由

(敬称略)

前田亘輝(TUBE)	夏や海がよく似合うから
	TUBEの曲が流れてくると夏だなと思うから
	こんがり日焼けした姿と歌が夏のイメージだから
所ジョージ	いつもアロハシャツやTシャツなどのラフな服装をしているから
	真夏の太陽の下で汗をかきながらビールを飲む姿が似合いそうだから
	麦わら帽子をかぶってビールを飲んでいるイメージがあるから
上地雄輔	元気が良く、太陽をイメージさせるから
	高校野球のイメージが強く、汗や夏の日差しが似合いそうだから
	プールや海が似合いそうだから
木村拓哉	タンクトップが似合うから
	サーフィンをするイメージがあるから
	海が似合うから